

第 1 7 3 回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

令和 5 年 5 月 1 8 日（木）

沖 縄 総 合 事 務 局

第 1 7 3 回 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会

日 時 令和 5 年 5 月 1 8 日 (木) 1 1 時 0 0 分
場 所 沖 縄 総 合 事 務 2 階 「 共 用 会 議 室 D ・ E 」

出席者：

公 益 委 員	上原委員、赤嶺委員、豊川委員、大城委員
労 働 者 委 員	漢那委員、柴田委員、島仲委員
使 用 者 委 員	桃原委員、亀谷委員、角委員

沖 縄 総 合 事 務 局	野原船舶船員課長、 比屋根課長補佐、金城係員
---------------	---------------------------

議 事 次 第

○ 開 会

○ 議 事

1. 第 1 7 2 回 船 員 部 会 の 議 事 録 承 認 に つ い て
2. 管 内 の 雇 用 状 況 に つ い て
3. 意 見 交 換

○ 閉 会

(配 付 資 料)

- 資 料 1 . 第 1 7 2 回 船 員 部 会 の 議 事 録 (案)
- 資 料 2 . 船 員 職 業 紹 介 実 績 等 一 覧 表 (令 和 5 年 4 月 分)
- 資 料 3 . 令 和 5 年 度 船 員 部 会 開 催 予 定 表 資 料

上原 部会長

それでは、定刻でございますので、第 173 回 船員部会を始めさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局からお願い致します。

事務局（金城）

本日は、公益委員 4 名、労働者委員 3 名、使用者委員 3 名が出席されており、船員部会運営規則第 9 条の規定による定足数を満たし、本部会が有効に成立していることを御報告させていただきます。

続きまして、今回の船員部会の配付資料を確認させていただきます。

（配付資料の確認）

上原 部会長

それでは、まず初めに、前回、第 172 回 船員部会の議事録について承認を諮りたいと思います。事前にメールにて確認されていると思いますが、議事録について何か御意見はありますか。

原案のとおり、承認してよろしいでしょうか。

（「はい」）の声

上原 部会長

異議がありませんので、承認されたものといたします。

続いて、議事の 2 「管内の雇用状況」について、事務局から説明をお願い致します。

事務局（比屋根補佐）

令和 5 年 4 月分の管内雇用状況等の概要について御報告致します。

● 求人状況について

新規求人数は 14 件でした。

前月に比べ 11 件増加、また、前年同月に比べ 7 件増加となっております。

月間有効求人数は 45 件でした。

前月に比べ 5 件増加、また、前年同月に比べ 25 件増加となっております。

月間有効求人数の内訳は、商船等 40 件、漁船で 5 件となっております。

月末未済求人数は 31 件でした。

● 求職状況について

新規求職数は 9 名でした。

前月に比べ１名増加、また、前年同月と比べて同数となっております。

新規求職数の内訳は、商船等９名となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

４月の新規求職者９名の退職理由は、自己都合が６名、定年・期間満了が２名、海上勤務中の現職が１名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地は、管外が２名、管内が７名となっております。

●求職状況について

月間有効求職数は２１名でした。

前月と比べ５名増加、また、前年同月と比べ８名減少となっております。

月間有効求職数の内訳は、商船等２１名となっております。

月末未済求職数は１３名でした。

●成立状況について

４月の成立は０件でした。

●求人倍率について

１月の月間有効求人倍率は、２．１４倍でした。

前月に比べ０．３６ポイント減少、前年同月に比べ１．４５ポイント増加となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は０名、支給延べ件数は０件です。

その他、再就職手当が３２２，９３２円、総支給額は３２２，９３２円でした。

以上、管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

上原部会長

ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明について何か御質問等がある方はいらっしゃいますか。

柴田委員

私から２点よろしいでしょうか。今さらながらの質問ですが、求人数については県内企業のみをカウントしているという考え方でいいの

かという点がまず一つ。

あと、昨年の１０月頃から求人倍率が約２倍程度でずっと推移していたかと思います。その背景として求人を出してもなかなか人が集まらない求人求職のミスマッチの状態のまま求人を出し続けた事業者がいたため、１０月から４月までこのような推移が続いているのかなと推測しております。どのような事業者の方かまでは分かりませんが、内航船などの会社より去年の１０月から求人をずっと出し続けてもなかなかマッチングができない。例えば３名求人を出していて３名全然補充できていないなど。こうなると予想できるのは休日の取得状況という点でかなりタイトな状況が去年の１０月から続いているなど予想できるのかなと思います。その様な会社がずっと求人を取り下げないということは人が集まっていない状況なので、例えば労務監査で休日のチェックをして見るとか、そのような形でデータを基に何か労務監査のほうにつながることはあるのかという点をお聞かせ願いたいです。

事務局（比屋根補佐）

事務局から御説明させていただきます。

まず、１点目について確認ですが、新規求人数の申請事業者は県内の事業者なのかということによろしいでしょうか。

柴田委員

はい、求人の提出については県内企業のみをカウントしているのか、それとも全部まとめてなのかということをお教えてください。

事務局（比屋根補佐）

県内外の企業に限らず、当局に提出された求人票をデータで計上しております。

柴田委員

企業側は関係ないということですね。分かりました。

事務局（比屋根補佐）

はい、当局で提出があったものを計上していますが、現在の有効な求人は全て沖縄県内の事業者になっております。

柴田委員

４月末の月間有効求人数は４５ですか。

事務局（比屋根補佐）

4 月末の月末未済求人数は 31 です。

柴田委員

月末未済の 31 なのですね。

事務局（比屋根補佐）

2 点目につきまして、雇用のミスマッチの整理になるかと思いますが、そのような求人について窓口で延長などのお話があった際に、働きたい人と雇いたい側の条件が一致していないということで相談を受けたり、こちらから条件などについてお話をしたりというのはあります。また、現時点ではミスマッチを理由に運航労務監査を実施するなどの対応はできていないところです。しかし、柴田委員がおっしゃるとおり実際に若い船員の方から休みが取れないので辞めたいというお話も度々聞きますので、今後はそのようなデータを基に労務監理官と情報共有して、効率的な監査の実施ができればと考えております。

柴田委員

同じ企業で求人の長期化となっているケース。例えば半年や 1 年間、ずっと求人票を出し続けても、なかなか人員を補充できないなどでしたら、働き方改革などの観点から何か考慮できることはあるのかなと思ったところでした。

ありがとうございます。

上原部会長

ありがとうございます。

その他ご意見ありますか。よろしいですか。

（「はい」）の声

上原部会長

それでは特に意見がないようですので、次の議事 3 番、意見交換に移りたいと思います。何かございますか。

大城委員

私からよろしいでしょうか。「海のハローワークネット」をオープンしたと先月資料をいただいたのですが、例えば船員さんになるのか、船舶の中で技術者ではなくて例えば看護師さんとか調理師さんとか、そういった方たちも「海のハローワークネット」で求人の募集とかあるのでしょうか。

事務局（比屋根補佐）

そのような方などは事務局という括りになりますが、一般的には船舶料理士の資格を持っている方を司厨長という職務で乗船させるケースが多いです。雇入れの手続きの際にも司厨部として手続きをおこない、甲板部・機関部以外の船員として乗船していただいております。また、医師を乗船させなければならない船舶もありますが、管内で対象船舶はありません。

大城委員

分かりました。ありがとうございます。

上原部会長

他に何かありますか。

漢那委員

今の関連で私からもよろしいですか。

陸上の調理師免許を持っている方が船舶料理士になる場合、乗船経歴の要件は3か月となっておりますが、その点で、船に乗る司厨長、司厨員と言われている方々に関連のある問題として、全国の水産高校でも司厨科というのがなくなってきている現状がございます。ではどこから調理師などを採用するのかとなったら、専門学校などから調理師さんや栄養士さんに目を向けざるを得ません。実際に九州ではうどん屋で働いている人を採用して船に寄せたりしているのですよ。現在、1,000トン以上の船舶というのは司厨長等に乗せている船が多いのですが、将来的に船員さんの食事を賄う司厨長等をどこから採用するかというのは今後大きな問題になるのかなと思っています。そこで先ほど述べたように陸上から調理師経験者の方などを採用できるようにハローワークや事務局などで求人を出す必要があると思っているのですが、求人の出し方としては双方一緒によろしかったでしょうか。

事務局（比屋根補佐）

司厨部の求人をハローワークのほうに出すということでしょうか。

漢那委員

そうです。船員さんの募集をかけるのは事務局ですよ。

事務局（比屋根補佐）

その場合は当局に司厨部員として求人を提出いただいているという

認識です。

漢那委員

部員か。部員なら乗船履歴が要らないのか。

事務局（比屋根補佐）

部員で乗って乗船履歴の要件を満たした後に、申請を出していただいて船舶料理士の認定をするという形になります。

漢那委員

一つ意見ですけれども、船舶料理士、賄いと言われている料理を作る人というのは法定定員に含まれていないと認識しているのですが、いかがでしょうか。

事務局（比屋根補佐）

はい。職員法上の法定定員とはされておられません。

漢那委員

以前からそのような人員は運航要員として法定定員に含まれていない状況なので、これを法定定員に含めるようにしないと将来的にこの職種もなくなるのではないかなと思い意見をさせていただきました。

事務局（比屋根補佐）

了解しました。

上原部会長

はい、ありがとうございます。他にございますか。

前回の部会議事録８ページに、台湾情勢について国と総合事務局で何か分かることがあったらお伝えしますと書かれていますが、まだ回答はないですかね。

事務局（比屋根補佐）

前回の部会が終わりまして、こちらのほうでご意見いただいた内容を取りまとめ、担当官への情報伝達を含めて、現在、本省に照会をかけていると伺っております。来月の部会では、担当官から何かしらの説明ができるのではないかと現時点で把握しておりますので、いましばらくお待ちいただきますようお願い致します。

上原部会長

はい、ありがとうございます。

では、意見交換をこれにて終了してよろしいでしょうか。

（「はい」）の声

上原部会長

それでは、事務局から次回の開催について連絡をお願い致します。

事務局（金城）

6月の船員部会は、6月15日木曜日に5階海技試験室で11時より開催致します。

後日、改めて案内の文書をメールで送付させていただきます。出席できない場合は、事前に事務局まで御連絡をお願い致します。

また、今回の議事録案は後日メールで照会させていただきますので、その旨もよろしくお願い致します。

上原部会長

はい、ありがとうございます。

それでは、以上をもちまして、本日の部会を終了させていただきます。

ありがとうございました。